〔第三種郵便物認可〕
昭和七年九月十三日　磐城新聞　〔火曜日〕　第三千五百二十九號

夕刊 時局情報（四）

平商業學校配屬將校
駒場鎌中尉（寄）

—（承前）—

支那人は王朝や外國人や日本人に對して彼等を保護し得ぬことを知つて居たので彼等は新政府の組織を希望したのであつた、袁世凱が覇權を握つた、彼は手腕のある强い人間であつたが新政府の仕事は彼に取つては餘りに大き過ぎた。

支那の大衆は一個の腦髓から放出する神經や腱を有しない水母に似て居る爲にそれは漸次北部中部及滿洲の各所に分解し、互に爭ひ以て今日に及んで居るのである。

○日本は滿洲に移民しようと努めたが開拓者としては全然失敗に終つた。日本人は支那人のやつた樣に土地を耕し、木を倒し、廣野に移住することは出來なかつた、支那本土からは幾百萬の移民が流れ込んだ一人の家長は三四人の妻と十五人乃至二十人の子供より成る家族が牛や驢馬に大きな馬車を連れて入り込んだ廣い土地を占有し忽ちの中に之を開拓し、耕作し、播種し、收穫を擧げるのである

日露戰爭後二十年間に千五百萬以上の支那人が日本に入つたのである、日本は非常に之を嫉視した、然し日本は誰か來て滿洲を開發して呉れることを望んでゐたので傍觀せねばならなかつた、實際の滿洲人は頗る少數で恐らく純滿洲族は二三萬を越えぬであらう、露國革命と支那の動亂の間に張作霖は好機到れりと許りに多年の野心を充たして滿洲が丁度其時米國で効力が發生したのでゐつた、張は予に語つたのは『貴國が日本人を排斥して居る彼等は必ず滿洲に入つて來るであらうそこで自分は數年ならずして滿洲侵略が來るであらうと確信して居る』と張は學問のある人間ではなかつた、彼は讀み書きも出來なければ、名前さへも書けなかつた、彼の息張學良は出來る丈け學問をさせられた彼は朗かな青年であるが父の威を借りて何事でも思ふ儘に出來たので彼には力も利巧さも其父のやうな狷狹さもなつた。支那人は外國人による開發は中止せねばならぬ時が來たと信じてゐて支那に飛行機を賣り込むた、然し乍ら彼等は工業的のを禁止したのでゐつた。支援なくしては文明國と戰爭する時必要な火藥、火砲飛行機、自動車、毒瓦斯及其他の軍需品を作り出す事は出來ないことを覺つて居た、生理學的に彼等は他の民族よりも强健で忍耐力があり多産的であるからいつかは世界を支配するものと信じて居る、彼等は政治的權力を嫌ひ、政治家を目して人から金を强奪する人間として居る。

然し乍らこの見解は最近二十年間に非常に變化した

時代警語

○志を立つる事は大にして高きを欲す……（貝原益軒）

……志は成るべく大きくして高きを以てすべしである、小にして低きは取らざる處である若し小にして低きに於ては小成に安ずるものである、大にして高ければ大成を期するものである……

信濃の旅 2

島田忠夫

○野尻湖

○澤みづに濡るゝ山羊齒のいろわかし蜩のこゑこもる林に

○から松の枝もれてさす暑き日に汗あえつゝも山を越ゆなる

○野尻湖は見えそめにけり白樺のまばらにまじる落葉松林

○野尻湖のふかき水いろに打たれつゝ心しばらく虚しきに似つ

○天なるや黑姥の山飯綱やま妙高山もそびえたつ見ゆ

○湖のべにテントを張れる學生の炊きの煙ぞ湖の上に匂ふ

雜詠

磐上六花

祭船灯して寄の淺きかな。
百合やながめや盛泉宿
夏菊に思ひ新たの淚かな。
大漁の旗上げ戻る卯浪かな。
築山の綠に卷きし簾かな。
逢へば何も言はれど親し櫻餅。

磐新歌壇新設

投稿規定

一、題　隨意なれどもなるべく自己の生活を中心としたるもの

一、用紙　原稿用紙（七首以內）歌壇原稿と表記の事

（歌稿は大正八年太田水穗氏門下に入り現在同人として短歌雜誌『潮音』に關係ある入山坑務所人事係長法學士小山田滋氏に選を乞ふ事とせり）

△明治天皇御大葬（大正元）

△皇后陛下都下窮民へ五千圓下賜（昭和四）

△新橋有樂町間にて省電衝突、負傷者百餘名を出す（同五）

社會の今日

○きれぎれに遠ゐる妻を思ひつつ、籠れば秋のかなかなの聲

野瀨　市郎

毎日毎日健太はお菊を口說いてた、工場の裏に虫が鳴いてた

外山　眞一

分析

郎次島浦　須田リン子

その上白木て云ふ男は餘程自尊心が强いんだね何時か磐新で美澤君が詩南車を批評した時—（確か詩と雜文のみだつたと思ふが）—矢張り我々と同じ意見で編輯部の無責任を言つたついでに彼の理論的敗北性の根據を遺憾なく暴露してゐたんだがそれに對しても意味の穿きちがひ（尤もこれはイデオロギーの關係でやむを得ないのかも知れないが）又は誤植を筆者の間違とする樣な上げ足を取る樣な態度で美澤君に肉薄しようとしてゐるんだがそいつがどうもまとまりが付かず無い爲に奴さん自暴自棄になり八方破れの論法だと終に自己の理論的敗北性を自らの手で暴露してしまつたんだ

それでも白木君自身としては勝ち誇つた氣持で居るらしいんだからあきれるよ。

いや白木君だつて人間である限り自己の理論が美澤君のそれとどつちが正しいか位は知つてゐるよ。だがね彼としては自尊心と社會的見榮心とは彼の理論的清算をさせ得ないのだ。だから何時かも言つた通りだ、彼等の陣營ばもがけばもがく程あせればあせる程自己の白痴性と破壞性と非發展を揚げてひよいと其の船を性の根據を遺憾なく發揮見て、お柳は呼つと驚いたせざるを得なくなるんだ乘つてゐたのが都合八人で君美澤君はこの事に就其の中に三十ばかりの女が いてどう言つてた。

B

僕が『君はこの卑怯なデマゴーグ的挑戰に對して無言で通すのか』と言つたら、いや僕としてはやつても良いと思つたが詩南車編輯部の某君でも有るし（彼は白木君とは言はなかつた）大体僕がやらなかつたからつてあの八方破れの文章がどれだけの影響が有るかと云ふ點になると極少もないしそれに彼が八方破れの論法だと正直に告白して居るのに對し何もやる必要はないふ云ふのだ。それよりか書物でも讀んだ方が德だと言つて居た。

そうだね白木君としたつて意識的にゐゝした理論をはくのではないし唯だ自己の認識不足の結果であるからね。

僕はそうでないと思ふ少くとも僕達に挑戰して來る限り我々はそれ等の存在に對し敵としての手段を講ずる事が當然である。僕は我々の日常闘爭つて、淺猿しい姿を往來に の否妥協性から言つてこうした日和見主義的意見に誤謬が有ると思ふ。

イヤ君そうした考へ方をウルトラと云ふんだ。我々はそうした機械主義的問題の取上方に對し絶對的に批評しなければならないんだ。君人間の精神作用を認識出來ない樣じゃ眞の唯物論者にはなれないよ、そうした非科學的な問題の取上げ方を唯物主義となすけてゐる、我々の陣營での脫落しやすい誤謬理論なんだ、例過ぎたへば今度の白木君の場合なんか、白木君が意識的に挑戰するのでない限りは我々は彼に全面的な攻擊に出る必要はないのだ。

講談　お蘭陀お蝶

(131)　渡邊默禪作
布施長春畫

自分の乘つた船が向ふへ着いた時、恰も其處を出る船が舵を打合はせる程に擦れ違つた、何心なく笠の廂に出來たので彼には力も利巧さも其父のやうな狷狹さもなつた。支那人は外國人による開發は中止せねばならぬ時が來たと信じてゐて支那に飛行機を賣り込むた、然し乍ら彼等は工業的

B

いや白木君だつて人間である限り自己の理論が美澤君のそれとどつちが正しいか位は知つてゐるよ。だがね彼としては自尊心と社會的見榮心とは彼の理論的清算をさせ得ないのだ。だから何時かも言つた通りだ、彼等の陣營ばもがけばもがく程あせればあせる程自己の白痴性と破壞性と非發展を揚げてひよいと其の船を性の根據を遺憾なく發揮見て、お柳は呼つと驚いたせざるを得なくなるんだ乘つてゐたのが都合八人で君美澤君はこの事に就其の中に三十ばかりの女が いてどう言つてた。

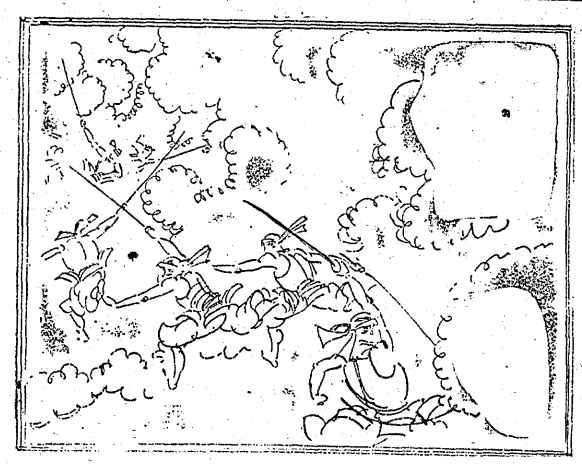
A

僕が『君はこの卑怯なデマゴーグ的挑戰に對して無言で通すのか』と言つたら、いや僕としてはやつても良いと思つたが詩南車編輯部の某君でも有るし（彼は白木君とは言はなかつた）大体僕がやらなかつたからつてあの八方破れの文章がどれだけの影響が有るかと云ふ點になると極少もないしそれに彼が八方破れの論法だと正直に告白して居るのに對し何もやる必要はないふ云ふのだ。それよりか書物でも讀んだ方が德だと言つて居た。

そうだね白木君としたつて意識的にゐゝした理論をはくのではないし唯だ自己の認識不足の結果であるからね。

僕はそうでないと思ふ少くとも僕達に挑戰して來る限り我々はそれ等の存在に對し敵としての手段を講ずる事が當然である。僕は我々の日常闘爭つて、淺猿しい姿を往來に の否妥協性から言つてこうした日和見主義的意見に誤謬が有ると思ふ。

イヤ君そうした考へ方をウルトラと云ふんだ。我々はそうした機械主義的問題の取上方に對し絶對的に批評しなければならないんだ。君人間の精神作用を認識出來ない樣じゃ眞の唯物論者にはなれないよ、そうした非科學的な問題の取上げ方を



ラヂオ

…十三日…（火曜）…

仙臺　JOHK

△前六、〇〇A　氣象
△六、三〇B　家庭教育講座（青年の心理と性教育）京都帝國大學教授文學博士野上俊夫
△七、〇〇B　エスペラント講座　八木日出雄
△八、〇〇A　乃木將軍二十年祭狀況　乃木神社より中繼
△九、〇〇A　氣象
△一〇、三〇A　家庭講座（茶道隨感）龜山宗月
△正午A　時報、氣象
△後〇、〇五A　吹奏樂と管絃樂　コロナーオーケストラ
△〇、四〇A　ニュース　告知事項
△二、〇〇A　婦人講座（青年を持てる母親へ）柴田一郎
△三、四〇A　氣象
△四、〇〇A　ニュース
△六、〇〇H（子供の時間）童話劇（宮千代物語）演出HK子供會
△六、二〇A　コドモの新聞　村岡花子
△六、二五A　カレント、トピックス　ハロルド、パーマー
△六、三〇A　講演（差別待遇）法學博士下村宏
△七、〇〇A　ニュース　氣象　生爾相場（乃木將軍二十年記念の夕）
△七、三〇A　講演（乃木將軍を偲ぶ）陸軍中將服部眞彥
△八、〇〇A　講演（ビールの破裂と土かつぎ）桃川若燕
△八、三〇A　浪花節（乃木將軍と孝行兵士）東家樂燕
△九、〇五A　筑前琵琶（九月十三日）高峰筑風
△九、三〇A　時報
△九、三一A　滿洲より（事變後に於ける空軍活動の概要）長春飛行第二大隊長航空兵大佐岩下新太郎
ニュース　氣象　生爾相場

自轉車を盜む

當時住所不定無職內郷村御厩生れ佐藤亥之松(三)は昨十一日夜平町二丁目谷口樓方より自轉車一臺（價格二十圓）を窃取した外數件の窃盜を働き今朝平署に檢擧された

放火に五年求刑

双葉郡音澤村の放火犯人青戸初衛(三七)は十日平支部で懲役五年を求刑されたが言渡しは十七日である

平町慶弔錄

△出生
紺屋町二六飯塚僧市郎三女仁子
三丁目五一仮野村谷川瀨藥師作三二酒井芳藏氏男正芳
△婚姻
富山縣中新川郡西水橋町山王寺六一六澁井宗則(三三)南町七一左々木トメル(二七)

廣告

秋の帽子と毛布
旅行用トランク・ステツキ
ハンドバツク・お化粧用品
●廉價な優秀品
秋向お子樣の服裝用品種々豊富に取揃へました
正　中野洋品店
平二町目・電五十三番

平南町　上田醫院
院長　上田耕作
電話　一二九番

平町田町（電話五一三番）
高久病院
醫學士　高久清忠
新潟醫學士　赤羽榮
藥劑士　佐竹菊蔵
內科　小兒科
外科　花柳病科
耳鼻咽喉科
レントゲン科

藥傳家
神効散（七日分金六十五錢）
平町月見町
中川木炭店

子供百日せき
『專門藥』！
のまずになをる奇妙藥
ためしにはつて御覽なさい。
たしかになをります……。

夜診療間
腸胃科　內科
十二指腸病
專門部
內科
淋病
皮膚病
婦人病
專門部
外科
松村醫院
胃腸病　性病
（平町南町電一〇七番）

內科、小兒科
外科、一般、婦人科
梅毒、淋疾
皮膚病
市原卯太郎
市原陸郎
市原三三男
平町田町本通
市原醫院
（入院隨意）
電話一一四番

川魚御料理
大蒲燒（一人前）四十錢
うなぎ丼　二十五錢
どぜう蒲燒（一人前）三十錢
どぜう丼　二十五錢
柳川　十五錢
ヒラキうなぎ　百匁　二十五錢より
ヒラキどぜう　百匁　二十錢より
配達迅速
相馬屋
四丁目川岸通り（電話二六一番）

月曜論壇

金成通氏を祝福

一

過般立候補以來資格問題に就て一部から極めて陰險惡辣な或る種の壓迫を受けの金成通氏が、前後四旬に亘る政戰によつて竟に本縣に於ける多額納稅議員として見事當選の榮冠を贏ち得愈々來る二十九日を以て勅選さるる事になつたのは、既往の惡戰苦鬪が文字通り血みどろなものがあつた丈け一家一門の榮譽は云ふも更なり、少くとも同氏を支持した地方民の均しく欣抃踴躍措かざる處である

二

敵國外患無ければ其の國氓ぶ。念ふに氏が立候補以來の戰況にして何等の曲折無く推移したりしとせば表面の平靜は卽ち平靜であつたにせよ一部の惡宣傳に對する反撥的の同情程に有權者の關心が果して今日の如く爾く深刻なるものあつたかどうか更に氏を支持する周圍の陣容が苟も緊張そのものに終始したかどうか、此間の研究にして一顧の値ありとせば金成氏及之れを繞る一黨の健鬪は醜惡なる一部の策動によつて著しく拍車されたものであつて、假令彼等の暗躍から一二票を失つた場合ありとするも蓋し質に於た眞に信賴すべき支持者を得た意味に於て決して之に眷戀たるべきでないと思ふ

三

由來當の對手を陷穽する目的の爲には殆ど手段を擇ばざるのが所謂選擧界の不文律的通弊であつて今回も職者をして顰蹙を禁じ得ざらしむるものあつたが終始受け身の立場に置かれた金成派に於ては敢て能動的に之の障碍を排除するの擧に出ずず、一に當局の裁決によつて其の正當化を待つの紳士的態度により柔克く剛を制すの賢明なる策戰に出た事は吾人の衷心敬意を表する處である

四

——憲法義解を見ると、貴族院の位置を說明して『保守の分子を貯存するに止るに非ず』と述べ、保守の分子を貯存することはさもの貴族院として既定の必要のやうに書かれてあるが、愈て居ないが吾等の信賴する法義解の所謂衆議院の『傾流奔注』を抑へる爲には決して保守一片の考ではいけに——平日何等爲す處無く過ぎる事なく極めて陰險ない。それを行ふには權限して日を曠しうする如き人惡辣な或る種の壓迫を受けの範圍に於てしそれを判斷物は非常時を負ふて起つべた金成通氏が、前後四旬にするは清新澄澈むしろ衆議亘る政戰によつて竟に本縣院以上のもので無くては折に於ける多額納稅議員として角の機構は動かず、兩院は見事當選の榮冠を贏ち得愈々來る二十九日を以て勅選さるる事になつたのは、既往の惡戰苦鬪が文字通り血みどろなものがあつた丈け一家一門の榮譽は云ふも更なり、少くとも同氏を支持した地方民の均しく欣抃踴躍措かざる處である

二

敵國外患無ければ其の國氓ぶ。念ふに氏が立候補以來の戰況にして何等の曲折無く推移したりしとせば表面の平靜は卽ち平靜であつたにせよ一部の惡宣傳に對する反撥的の同情程に有權者の關心が果して今日の如く爾く深刻なるものあつたかどうか更に氏を支持する周圍の陣容が苟も緊張そのものに終始したかどうか、此間の研究にして一顧の値ありとせば金成氏及之れを繞る一黨の健鬪は醜惡なる一部の策動によつて著しく拍車されたものであつて、假令彼等の暗躍から一二票を失つた場合ありとするも蓋し質に於た眞に信賴すべき支持者を得た意味に於て決して之に眷戀たるべきでないと思ふ

三

由來當の對手を陷穽する目的の爲には殆ど手段を擇ばざるのが所謂選擧界の不文律的通弊であつて今回も職者をして顰蹙を禁じ得ざらしむるものあつたが終始受け身の立場に置かれた金成派に於ては敢て能動的に之の障碍を排除するの擧に出ずず、一に當局の裁決によつて其の正當化を待つの紳士的態度により柔克く剛を制すの賢明なる策戰に出た事は吾人の衷心敬意を表する處である

四

——憲法義解を見ると、貴族院の位置を說明して『保守の分子を貯存するに止るに非ず』と述べ、保守の分子を貯存することはさもの

貴族院として既定の必要のやうに書かれてあるが、愈て居ないが吾等の信賴する法義解の所謂衆議院の『傾流奔注』を抑へる爲には決して保守一片の考ではいけに——平日何等爲す處無く過ぎる事なく極めて陰險ない。それを行ふには權限して日を曠しうする如き人惡辣な或る種の壓迫を受けの範圍に於てしそれを判斷物は非常時を負ふて起つべた金成通氏が、前後四旬にするは清新澄澈むしろ衆議亘る政戰によつて竟に本縣院以上のもので無くては折に於ける多額納稅議員として角の機構は動かず、兩院は見事當選の榮冠を贏ち得愈々來る二十九日を以て勅選さるる事になつたのは、既往の惡戰苦鬪が文字通り血みどろなものがあつた丈け一家一門の榮譽は云ふも更なり、少くとも同氏を支持した地方民の均しく欣抃踴躍措かざる處である

二

敵國外患無ければ其の國氓ぶ。念ふに氏が立候補以來の戰況にして何等の曲折無く推移したりしとせば表面の平靜は卽ち平靜であつたにせよ一部の惡宣傳に對する反撥的の同情程に有權者の關心が果して今日の如く爾く深刻なるものあつたかどうか更に氏を支持する周圍の陣容が苟も緊張そのものに終始したかどうか、此間の研究にして一顧の値ありとせば金成氏及之れを繞る一黨の健鬪は醜惡なる一部の策動によつて著しく拍車されたものであつて、假令彼等の暗躍から一二票を失つた場合ありとするも蓋し質に於た眞に信賴すべき支持者を得た意味に於て決して之に眷戀たるべきでないと思ふ

三

由來當の對手を陷穽する目的の爲には殆ど手段を擇ばざるのが所謂選擧界の不文律的通弊であつて今回も職者をして顰蹙を禁じ得ざらしむるものあつたが終始受け身の立場に置かれた金成派に於ては敢て能動的に之の障碍を排除するの擧に出ずず、一に當局の裁決によつて其の正當化を待つの紳士的態度により柔克く剛を制すの賢明なる策戰に出た事は吾人の衷心敬意を表する處である

四

——憲法義解を見ると、貴族院の位置を說明して『保守の分子を貯存するに止るに非ず』と述べ、保守の分子を貯存することはさもの

貴族院として既定の必要のやうに書かれてあるが、愈て居ないが吾等の信賴する法義解の所謂衆議院の『傾流奔注』を抑へる爲には決して保守一片の考ではいけに——平日何等爲す處無く過ぎる事なく極めて陰險ない。それを行ふには權限して日を曠しうする如き人惡辣な或る種の壓迫を受けの範圍に於てしそれを判斷物は非常時を負ふて起つべた金成通氏が、前後四旬にするは清新澄澈むしろ衆議亘る政戰によつて竟に本縣院以上のもので無くては折に於ける多額納稅議員として角の機構は動かず、兩院は見事當選の榮冠を贏ち得愈々來る二十九日を以て勅選さるる事になつたのは、既往の惡戰苦鬪が文字通り血みどろなものがあつた丈け一家一門の榮譽は云ふも更なり、少くとも同氏を支持した地方民の均しく欣抃踴躍措かざる處である

二

敵國外患無ければ其の國氓ぶ。念ふに氏が立候補以來の戰況にして何等の曲折無く推移したりしとせば表面の平靜は卽ち平靜であつたにせよ一部の惡宣傳に對する反撥的の同情程に有權者の關心が果して今日の如く爾く深刻なるものあつたかどうか更に氏を支持する周圍の陣容が苟も緊張そのものに終始したかどうか、此間の研究にして一顧の値ありとせば金成氏及之れを繞る一黨の健鬪は醜惡なる一部の策動によつて著しく拍車されたものであつて、假令彼等の暗躍から一二票を失つた場合ありとするも蓋し質に於た眞に信賴すべき支持者を得た意味に於て決して之に眷戀たるべきでないと思ふ

三

由來當の對手を陷穽する目的の爲には殆ど手段を擇ばざるのが所謂選擧界の不文律的通弊であつて今回も職者をして顰蹙を禁じ得ざらしむるものあつたが終始受け身の立場に置かれた金成派に於ては敢て能動的に之の障碍を排除するの擧に出ずず、一に當局の裁決によつて其の正當化を待つの紳士的態度により柔克く剛を制すの賢明なる策戰に出た事は吾人の衷心敬意を表する處である

四

——憲法義解を見ると、貴族院の位置を說明して『保守の分子を貯存するに止るに非ず』と述べ、保守の分子を貯存することはさもの

金成氏を上院に送つて欣躍する石城郡政友派

新に殖ゑた地方福祉開拓の開鍵

立候補早々、事もあらうに資格問題に關して辛辣なる惡宣傳を受け愈々選擧直前となつては某々の寢返り一部の暗躍等最惡の立場に置かれた金成通氏が尙且つ最高點者と隔る事僅かに一票の差を以て見事に貴族院多額納稅議員に當選した事は氏の人格德望に對する縣下有權者の總意が茲に反映したるものとして寧ろ當然の歸結ではあるが曩に地方の爲東奔西奔に寧日無き鈴木代議士を中央に送り今亦同志中の長老たる金成氏を上院議員に出した石城政友派では兩々相呼應して地方福祉開拓の爲最善を竭さるるものとして喜びの絕頂に達してゐる（寫眞は最近の金成氏）

吾人は茲に近來に於ける最大の歡喜を披瀝し氏が今後倍々自重加餐以て向來七年の任期を通じ國家社會の爲により多く靈瘁せられんを熱望すると共に洋々たるその前途を祝福して止まない

六

吾人は茲に近來に於ける最大の歡喜を披瀝し氏が今後倍々自重加餐以て向來七年の任期を通じ國家社會の爲により多く靈瘁せられんを熱望すると共に洋々たるその前途を祝福して止まない

共濟病院陣容一新

昨日の理事會で根本方針決定

磐城共濟病院理事會は昨十一日午後三時から同病院に開催したが出席十三名會則の一部改正を議決し小田氏の提案に基いて會長井上茂作、副會長野崎滿藏、萩原義雄氏に決定したる上會長の指名により常任理事馬目雅治、高橋亀松、關內正一、星野清一吉、伊藤淺之助、端山正男

記者團一敗地に塗る

昨日入山オールドボーイとの野球試合

磐城高女では二十三日の縣下女子中等學校競技大會の前哨戰として昨十一日水戸に遠征師範、高女と試合したが成績次の如し

△五十米3四家△百米3加藤△四百米リレー2△走高跳2弓野△走巾跳3赤塚△ボールスロー1石島

△バスケット

磐女4——16水高女

磐女12——16師範

△バレーボール

磐女3——0水女

磐女3——0師範

△庭球

磐女3——2水女

磐女3——2師範

水女磐女

山崎佐藤）3——0（前田遠藤

入山オールドボーイ對平記者團の初野球試合は昨十一日午後二時から入山グラウンドで記者團先攻で開始したが球場は直前迄降雨でコンデッション頗る惡かつたにも拘らず選手は何れも意氣軒昂攻守共にベストを盡して戰ひ四回戰迄は二對二で十一對三で記者團の敗戰となつた

常磐勝つ　磐中職員對常磐銀行員の野球は一昨十日中學グラウンドで行つたが球場は直前迄降雨でコンデッション頗る惡かつたにも拘らず選手は何れも意氣軒昂攻守共にベストを盡して戰ひ四回戰迄は二對二で十一對三で記者團の敗戰となつた

常磐勝つ　磐中職員對常誠吉が四つ手網の滑車がカラコロとなる度に幾匹かの魚を掬つた、

誠吉夫妻の死

高瀨勝一男

此の文は只彼の橫顏を寫したのみで私のノートに書いたのを發表するのです、誠吉とは宮田君の事で、近所にすむ人、親友ではないが知人であつた

河に水が出ると誠吉は早速網を張つた。

夜點燈して迄漁を止めな盛水をまつて網を張る『この元氣を』相變らずなものだと私は眺めた。

隨分古くからのキリスト教徒で、私が思想的惱やら青春期のなやみやらで教會へ通つた時分誠吉は、よくる雜誌に稿して自然と私の會堂で信者達の面倒をみて居たものだつた。

バイブルも隨分諳記して居たし。讃美歌も上手に歌つた誠吉を考へると、嘗て會堂の一隅に議論した（救吉の家に、客となつて、旬はれて已のみ幸なるか）

私はすこし社會主義的立場から彼と語ることもあつたと思ひ出される。

この頃私は雜誌を刊して居たので、誠吉の歌の稿が投られて居た。

それから或君のやつて居る雜誌からはなれた。

私が教會に行かなくなつてから近所ながら餘り合つて居なかつた、そして一日は嬉しいと無言のなかに語つて思る樣に見えた。

誠吉は結婚して、自殺した。私達はどうして、彼の自殺を判じ得よう。結婚し臨み、哀別の席に臨む、まん死んだ彼の生前心境を語つた歌を誦んで居ても、私達は死んで始めて慈くばかり。

戀愛結婚ときゝ、一緒に死んだときゝ、誠吉夫妻の

磐女の遠征選手

水戸で氣を吐く

縣下大會の前哨戰績

磐城高女では二十三日の縣下女子中等學校競技大會の前哨戰として昨十一日水戸に遠征師範、高女と試合したが成績次の如し

△五十米3四家△百米3加藤△四百米リレー2△走高跳2弓野△走巾跳3赤塚△ボールスロー1石島

△バスケット

磐女4——16水高女

磐女12——16師範

△バレーボール

磐女3——0水女

磐女3——0師範

△庭球

一寸した感情問題で

煉炭工場新設反對氣勢再燃

調印を纏めて地主に肉薄

平町七丁目、鎌田區民の煉題の逆轉を見るに至り前回炭工場新設反對は某町議等より一層深刻な紛糾を釀し反對側の代表者四名は卽日の奔走で一時妥協が成立したが一昨十日關係者間に於て再び問題化して不當の暴利を貪つて居る不良買入人も少中である

金の暴騰から平署管內二百餘名の古物商は之の買入に狂奔して居るが中には暴目を胡麻化して不當の暴利を貪つて居る不良買入人も少くないので同署では發見次第嚴罰に處する方針で探査と强硬なる膝詰談判の結果名と締結した土地貸借契約を取消す旨の言質を得て歸平し同夜盛大な報告會を催げる感情の齟齬から再び問地主郡山市橋本萬右工門氏

蘭價依然落調

十、十一兩日の四倉市況

四倉蘭市場十、十一兩日の取引は

△十日—白六十七貫、最高四十五圓五十錢、最低三十五圓、買馴四十三圓

△十一日—白二百四十九貫、最高四十五圓、最低三十五圓、買馴四十三圓

十二圓五十錢、買馴四十二圓八十錢

佐藤大内）0—3（菅戸本來

中田寶珠戸）3—2（渡邊永

後藤小野崎）2—3（長瀨石川

中田寶珠戸）0—3（長瀨石川

山崎佐藤）0—3（菅戸本來

綿引浦木）0—3（三瓶熊

不戰——熊三瓶

師範磐女

鹽谷小沼）0—3（前田遠藤

石坂場崎）0—3（菅戸本來

加茂川富坂）3—1（渡邊永

倭鈴木）0—3（長瀨石川

植竹渡邊）3—1（熊三瓶

加茂川高坂）2—3（前田遠藤

植竹渡邊）2—3（菅戸本來

不戰——長瀨石川

目方を胡麻化して暴利を占る惡漢

金の暴騰が生んだ不正古物商に其筋の目が光る

記事輻湊に付滿洲行休載

眞性二疑似

湯本へ豚コ依然終熄の模樣なし

草野に疑似　草野村泉崎相澤三男方飼養の豚四頭はコレラ疑似畜と判明本日平署に報告あつた

玉川

信用組合活動一束

信用購買組合役員會を十日午前九時から同村役場に開き睡眠狀態にある組合の活動を促し左記申合せをなした

一、貸付金確保　二、更生に對する新事業の研究

（購買販賣事業と農業倉庫の兼營）三、借入金の組合長專務理事一時提供協議會を開き定款の作製理事監事の選定をなす事となつた

大野

自力更生の意味から休止狀態にあつた信用組合を解散

新組合の設立に奔走中であつたが組合員三百名六百口出資一萬二千圓の豫定口數に達したので十七日午後一時から同村小學校に設立依賴した、尙ほ校旗を作べく目下計畫中である

小名濱町會

小名濱町會は今十二日午前十時から役場會議室に開催、漁港修築費地元負擔財源捻出に就て協議した

第二學校乃木祭

平第二小學校では明十三日の乃木祭に午前十時から四以上の生徒をして祭壇の寫眞を禮拜せしめ、將軍の遺訓朗讀、幼時のお話、唱歌旅順開城、講演日本婦人と大將婦人があると

滿洲事變記念映畫　東日主催の滿洲事變一週年記念映畫會は明十三日午後六時半より平區域とした六百餘名の慰安館に於て開催されるが映畫會を開催する

は國際オリンピック大會及滿洲事變各七卷其他藤田中尉の講演もある

第二校歌校旗　平第二小學校では近くパリから歸朝する東京高等師範學校教授青柳源二氏に校歌の作曲を依賴した、尙ほ校旗を作べく目下計畫中である

磐中行事一束　五年生の野外演習は十九日行ふが場所未定、唱歌會は辯論大會と共に二十七日開催の豫定

第三校應援歌　平第二小學校では職員中から應援歌を募集する事になつたが作曲は同校研究部に於てなす

講習報告會　平第二小學校では今十二日午後一時から金澤、草野、阿部三訓導の講習報告會を開いた

荒川敎諭新著　元磐中敎諭荒川愈兵庫縣柏原中學敎諭荒川愈兵衛氏は在平中『日本語になつた英語』を著した

が今回は『外來語序說モダン語研究』を著した

停學處分解除　磐中五年生湯本町大沼某（二八假名）は來停學中であつたが今十二日解除された

當選御禮

今回の貴族院多額納稅議員選擧に際し各位の多大なる御後援に依り當選の光榮を擔ひ候段感謝に堪へず不取敢紙上を以て御禮申上候

昭和年七九月十一日

石城郡錦村

金成通

家の光慰安會　郡產業組合では郡內を三班に分ち各班毎に機關誌家の光讀者慰安大會を開く事に決し今年は二十日午後一時から小名濱小學校で江名、小名濱豐間、泉、玉川、湯本鹿島を

湯本町長送迎宴　湯本町有志發起の新舊町長歡送迎會は十日午後六時から松柏館に於て開催したが出席八十餘名、町區會議員若松孝平氏開會の挨拶を述べ、小泉三代喜、石川德壽兩舊新町長の謝辭あつて開宴、盛裡に八時散會した

少女凌辱起訴　過般勿來海岸に於て三部つみ（一五）假名—を凌辱した同村大字新屋敷高木多平（三）は今十二日起訴平支部の豫審に附された

諸判定應需
東京市本郷區湯島四丁目五番地
高島易斷總本部　神鼎館

九月十三日　舊八月十三日　火曜
丁丑　友引　定
牧宿

▲一白の人　口車に乘りて意外の災難にあふ相談事注意▲二黑の人　山野の起伏な往來する如く苦あり榮もあり▲三碧の人　物事思ひ通りなられど明智の人に救はれん▲四綠の人　落膽せず苦痛を忍びて勵まるれば吉に向ふ▲五黃の人　丹精は良果を結ぶに至る企業開店徐に誤れ▲六白の人　勇非沿ばつに目的に向ひて直進するがよろし▲七赤の人　他の人他の思惑に支配せられずまごころを以て進む吉▲八白の人　不利と知らば斷然思ひ止るべしちうちょは失敗▲九紫の人　調子に乘れば失財の恐れあり目上に逆ふな